

やまと

広報

1 月号
2023 No. 285

- 
- 02-03 新年のご挨拶、二十歳の集い
04-05 特集 長田須磨シンポジウム、アミノクロウサギシンポジウム
06-11 シマの話題、どうくさむんがたり、ほか
12-16 お知らせ、大和村長のフォトダイアリー、ほか

年始のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、1月のトンガ沖地震による影響で夜間にJアラートが発令され奄美大島本島内全体が不安に包まれ、そして2月にはロシア軍によるウクライナ侵攻が始まり世界中が不安に包まれて始まりました。

また、原油価格の高騰による影響や、新型コロナウイルス感染症についても収束が見えず、村民の皆様におかれましては、大変ご苦勞なされたと思っております。

このような1年でしたが、「宮古崎トンネル」開通により交通の利便性向上が図られたこと、大島高校野球部が春の選抜甲子園大会に出場したことは、大和村民をはじめ奄美群島民にとって大きな希望となりました。昨年11月に開催されたサッカーワールドカップでは、一つの目標に向かい戦い抜いた日本代表の活躍は、多くの国民に勇気と感動を与えました。

さて、大和村政の運営を担う私自身も、職員と共に、村民皆様の幸福度を上げるため一つの目標に向かい取り組みを進めてまいります。今年の村政の基本方針は次の通りです。



① 行財政改革の推進

事業の効果等を十分に検討し、歳出の抑制に努め「最小の経費で最大の効果」を目指し健全財政の確立を図ります。

② 農林水産業の振興と体験型観光農園の充実

「大和まほろば館」や、「いしよむん館」の活用促進に加え、加工品の開発と体験型観光農園の充実を図ります。

③ 民間企業との連携による村の活性化対策の推進

民間企業による温泉湧出により期待される観光需要に対し、行政が協力連携し村の活性化を図ります。

④ 観光施設整備による観光振興の充実と推進

世界自然遺産登録地にふさわしいアマミノクロウサギ研究飼育施設の計画的な事業推進に努め、体験型観光の受け入れに対する支援策を継続し、観光振興の充実を図ります。

⑤ 子育て支援と高齢者対策の充実による安心

して暮らせる村づくり
従来の各種支援策に加えて、村内保育所に

おける遊具の再整備を進めるほか、新たに福祉事務所を設立し、更なる高齢者福祉の充実を図り、子どもから高齢者まで安心して暮らせる村づくりに努めて参ります。



この他に「道路交通網、生活環境の整備促進」と「災害に強い村づくり」で合計7つの基本方針を推進し、明るく心豊かな「まほろば大和」の創造に村民と共に取り組むことで、「村民が主役・小さくとも光輝き続ける村づくり」の実現に邁進いたします。

以上のことに、全職員一丸となつて、全力を尽くして参る所存ですので、村民の皆様のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春にあたり、村民の皆様方の限らないご多幸と、益々のご健勝をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

大和村長 伊集院 幼



祝二十歳の集い



後列左から

出見 颯 (大和)、直崎 広生 (大和)、森岡 敬司 (大和)、牧岡 礼羅 (大和)、田畑 鍊哉 (大和)、森 聖也 (今里)、山下 竜輝 (今里)

前列左から

重田 優衣 (名音)、藏 野々夏 (大和)、村山 涼乃 (大和)、屋井 優羽 (大和)、重信 優香 (大和)、勝 えりい (名音)、中島 心優 (大和)

成人おめでとう

1月4日、二十歳の集いが開催されました。今年の対象者は35名。14名が出席し、それぞれが新成人としての抱負を述べました。「いつかは島で」、「大和村の発展のため」という言葉が聞かれ、故郷を離れ勉強や仕事に励みながらも、ふるさとを大切に作る気持ちが伝わってきました。

謝辞では森岡敬司さんが「大自然に囲

まれ育ったこと、これまで見守ってくれた家族や先生、地域の皆様に感謝している。高校時代にコロナにより部活動が急にできなくなったことや、母の死を経験し、普通でいられることの幸せを知った。後悔ではなく感謝の気持ちでいられるよう毎日を大切にすごしたい」と感謝と抱負を述べました。20歳になられた皆様のご活躍をお祈りいたします。



長田須磨さんの功績を讃え、奄美文化の継承を目指す

昨年11月5日（土）、大和村防災センターで第1回長田須磨シンポジウムが開催され、80名余りが来場しました。

長田須磨さんは、大和浜の旧家出身。東京に進学し、奄美出身の長田広さんと結婚した後、民俗学者の柳田國男に触発されて奄美の民俗研究に取り組み、言語や染織、女性をテーマに多くの著書を残しました。その資料やメモ、織物の図案などは、大和村中央公民館の長田須磨文庫に保管されています。

このシンポジウムの主催は、長田須磨さんの甥である見目正克^{けんもくまさかつ}さんが代表の奄美文化継承プロジェクトです。奄美の大切な文化を、新しい形を加味して次の世代へ伝えようという目的があります。



長田須磨

1902年大和浜生まれ。50歳から奄美民俗の研究を志し、言語や染織に関する多くの著書や編纂を手がける。1998年逝去。



見目正克

理学博士、理学修士。奈良女子大学の名誉教授。長田須磨さんの妹の子ども。奄美文化継承プロジェクト代表。

第一回 長田須磨シンポジウム

おさだすま



第1回目となる

今回は、奄美に伝わる昔の染織がテーマ。近畿大学の関口千佳子教授を迎え、繊維や染料などについて講演していただきました。

講演では、大島紬が作られる以前は、染色や織物の種類が多種多様にあったが今は途絶えてしまったことや、もともと上納が自家用であつた織物が大島紬の誕生により経済を支える存在になった歴史などを話されました。

また、奄美の伝統的な腰紐ウレイグシ織りの紹介があり、川崎市立日本民家園民技会の岡本亜紀子さんによる実演も行われました。このウレイグシ織りは、沖縄から伝わったといわれる花織の腰帯です。長田須磨さんも著書の中で、子どもの時から機織りの真似ごととしてウレイグシ織り遊びを行っていたと書いています。

シンポジウム後のワークショップでは、興味がある方々で岡本さんを囲み、興味深く織り方を見学。岡本さんは「ぜひ奄美でも織れる方が増えて欲しいです」と話していました。

主催の見目正克さんはまとめの挨拶で今後の計画を話し、「長田の研究は言語や女性文化などまだまだ多方にわたっています。今後もシンポジウムを続けていきたいです」と話しました。



YouTubeのアーカイブで視聴できます。





SNSのフォローをお願いします

12月10日(土)、大和村防災センターでアマミノクロウサギシンポジウムが開催されました。内容は、大和村が思勝地内に建設を予定しているアマミノクロウサギ研究飼育施設(仮称)について、各分野の専門家から保護対策のあり方や施設の役割期待することなどをお話いただくというもの。100人余りが来場し、6名の講師により5時間にも及ぶ充実した内容でした。講師の話された内容を簡単に紹介します。

アマミノクロウサギシンポジウム

奄美群島国立公園管理事務所 鈴木真理子さん「アマミノクロウサギの穴」

クロウサギの巣穴の密度や形状を調査してきた。巣穴は動物の社会性や行動圏を知る手がかり。福元盆地では、約1km内に21個の巣穴と岩穴がある場所があった。

沖縄大学 山田文雄 客員教授

「大陸から島で生き残ったアマミノクロウサギの生態と保全の今後」

クロウサギはドングリを食べるのが特徴。毛皮で亜熱帯を生き延びるには、夏でも20℃に安定している巣穴が重要だったと思う。大陸で絶滅したのは、鳴き声の周波数がネコ科動物の可聴域だったからかも。

鹿児島大学 高山耕二 准教授

「農業被害を防ぎアマミノクロウサギと共に暮らす～侵入防止柵による棲み分け～」

クロウサギの飼育個体を使って実験を行った。クロウサギを傷つけることなく食害を防ぐためには、侵入防止柵の網目は4×4cm以内、高さ75m以上で、よじ登りを防止するため15cm以上の返しも必要。

鹿児島市平川動物公園 落合晋作さん「アマミノクロウサギの傷病保護と飼育」

地域の動物園として、交通事故や猫による咬傷で怪我をしたクロウサギを今まで6頭預かってきた。助かった個体を飼育する中で、調査研究も行っている。1匹は奄美大島で野生復帰している。

東京農工大学 田中あかね教授

「ロードキルを防ぎたい！ アマミノクロウサギの視力を考える」

ウサギは、被補食動物で危険を察知するとじっとして難を逃れようとする。また顔の横方向に眼がついている動物は視野は広いが遠近感に乏しい。クロウサギは夜行性だが、眼の集光版構造的に暗闇は苦手だと思う。

写真家 浜田太さん

「アマミノクロウサギ新たな生態発見についてフィールドからの報告」

撮影のためクロウサギの巣穴を定点観測してきた中で、争いや子育て、ハブへの警戒、昼間のんびりする姿などいろいろな行動が見られた。アマミノクロウサギは島のアイデンティティ。研究飼育施設に期待する！

最後に、講演者たちによるパネルディスカッションも行われ、今後の保護の方法やアマミノクロウサギ研究飼育施設に期待することが話されました。



YouTubeのアーカイブで視聴できます。

3 年ぶり放水鮮やか

1月8日、大和村消防出初式が大和中学校グラウンドで開催されました。観閲式、表彰式、ポンプ車の消防訓練や一斉放水などが行われ、新春を鮮やかに彩りました。

大和村の防災に尽力されている消防団員は、5分団で50名。平均年齢は38.4歳です。高齢化の進む本村で、台風の避難誘導や火災などの際には率先して活動を行っています。消防団への信頼・安心感は多大なものだと思いますが、各個人の備えも大切です。日ごろから火災予防に努め、迅速に避難ができるよう災害に備えておきましょう。表彰された方々は以下の通りです。

大島支部長表彰

功績章

第1分団 村上 京助さん

第1分団 大野 英則さん

第4分団 重田 茂応さん

第3分団 杉島 勇さん





「映え」にお墨付き！

フォトドラスポットに国直集落と宮古崎が認定され、村長室で認定式が行われました。これは、鹿児島県とオールトヨタが進めるプロジェクトで、写真を撮るためにわざわざ出かけてみたくなるスポットを集め、その魅力と驚きを世界中に発信していくプロジェクト。フォトドラスポットに認定されたことで国直の美しい集落風景や宮古崎の写真映えにお墨付きを得たといえるでしょう。村内には他にも素晴らしい景色がありますね。さらなる認定を目指して行きたいものです。



良い年祈願し初泳ぎ

1月2日、新春恒例の初泳ぎが国直海岸で行われました。大和村水泳連盟（会長 伊集院幼）が昭和62年から行う恒例イベント。この日は風もなく最高気温が19℃を超えるあたたかな気候で絶好の初泳ぎ日和となりました。参加者は、村内外から集まったおよそ30名のスイマーたち。浜辺を走り体を温めた後、一斉に海へと向かいました。

参加者らは沖合まで泳ぐと三本締めで一年の無病息災を祈願しました。

観光大使に期待

コロナの影響で当初予定していた時期に村内で委嘱式ができなかったことから、東京と鹿児島で観光大使の委嘱式を行いました。

大和浜にルーツを持つ歌手の城南海さんには、平成27年から観光大使として活躍いただいています。11月に所属事務所で3回目となる委嘱式を行いました。平成30年11月開催の村政110周年記念式典ではステージも披露していただきました。

武成美さん、指宿桃子さんで結成された「奄美島唄 Duo すもも」は、大和村の特産品「すもも」にちなんで、平成29年から観光大使を委嘱しています。これまで、関東地域で行うタンカン販売会等で、島唄を披露し、販売会場を盛り上げていただいています。昨年9月に武さんの結婚式にて委嘱式を行いました。3人の益々のご活躍と観光大使として大和村の情報発信に尽力されることを期待しています。



湯湾岳に展望台完成

11月25日、湯湾岳山頂展望台がオープンしました。山頂部の祠のある広場に新たに建設された木造の展望台で、高さは約5.5m。これまでは、木々にさえぎられて眺望できませんでしたが、この展望台からは奄美フォレストポリスや世界自然遺産の山並みを見下ろすことができます。同日に開催された完成記念お披露目会（環境省主催）では、環境省奄美群島国立公園管理事務所長の阿部慎太郎氏、元山宇検村長、伊集院大和村長がテープカットを行い、安全を祈願しました。

展望台オープンに合わせて、湯湾岳利用ルールが運用されています。山頂付近には特に希少な植物が生育し、自然環境の保全上最大限の配慮が求められるため、山頂エリアを保全ゾーンと指定しています。立ち入らないようお願いいたします。ルールについて詳しくは、12、13ページをご確認ください。



50 周年おめでとう！

大和村では、結婚50年目を迎えた方に金婚式を開催しています。今回は、昭和47年にご結婚されたご夫婦が対象です。しかし、今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、記念品の贈呈のみを行いました。

11月23日、国直集落にお住いの川下忠和さん・昭子さんご夫婦に記念品を贈呈しました。お二人は「結婚60周年のダイヤモンド婚まで健康に仲良く過ごしたい」と笑顔を見せていました。これからも健康でお幸せに！



親子でミニ運動会

11月18日、村内の保育所、保育園による合同親子ミニ運動会が大和村体育館で開催されました。過去2年間は新型コロナウイルス感染症の影響で保護者参加の行事が開催できなかったため、久しぶりの親子イベントとなりました。当初の予定では国直ウミガメ公園で合同親子遠足を行う予定でしたが、雨天のためミニ運動会を開催。48名の園児と保護者らが参加し、玉入れやかかけっこ、縄跳びなど沢山の競技を親子で楽しみました。家とは違う我が子の様子に、目を細める保護者たちの姿が見られました。



大和の園で百歳祝う

12月20日、大和の園で内閣総理大臣からの100歳の祝い状と銀杯の伝達および大和村からの祝い状と敬老祝金の贈呈を行いました。この日が誕生日で100歳を迎えられた渡邊ハマ子さんは奄美市出身で、大和の園に入所されています。娘の才原小夜子さんによると、ハマ子さんの姉2人もなんと104歳と105歳まで長生きされたとのこと！ご長寿の家系ようです。伊集院村長が祝い状を手渡すと大きな声で「ありがとうございます」と返事をされていました。お姉さん方を上回るほどのご長寿を祈願いたします。



郷土の歴史伝える講話

12月8日、農原弘久教育長が大和小学校の5・6年生に自作の教材を贈呈し、講話を行いました。教材は、教育長が挿絵などを描き編集したもので、戦後アメリカ軍政下にあった奄美群島が日本に復帰を成し遂げた島の先人達の偉業を伝える内容です。講話を聴いた児童代表の岩元帆久斗さん（6年）は「今あたりまえの生活ができているのは昔の人ののおかげなんだと思った。」と感想を述べ、郷土の歴史を知るきっかけとなったようです。教材は、中央公民館にて閲覧可能です。



小川医師のいのちの授業

12月18日、大和村地域女性団体連絡協議会の研修会「折れない心を育てるいのちの授業～解決が難しい苦しみから学ぶこと～」として、大和診療所の小川信医師が講演しました。この講演は、昨年11月に村内の小学校5・6年生と中学生に行われたものと同じ。内容は、苦しいときに支えになるものや、苦しむ人を前にしてできることなど。小川医師は自身の経験談を含めながら、自他を認め大切にするについて語りました。この講演は、役場の職員に向けても開催されました。



寒空に花火咲く

延期されていたひらとみ祭り（大和村連合青年団主催）の花火大会が12月18日に開催されました。人の密集をさけるため、村内の4箇所に分散して打ち上げを実施。冷たく澄んだ冬の夜空に大輪の花が輝きました。連合青年団長の村田丈尚さんは「開催方法や天候などベストではなかった。次こそは、通常通り夏に開催できることを期待している。ご寄付にもご協力いただければ大変ありがたい」と意気込みを語りました。今年こそは、祭りも花火も夏に開催できるといいですね。



福元ダイコン大人気！

12月28日、第29回ひらとみ朝市が開催されました。ひらとみ朝市といえば福元ダイコンが目玉商品。今回も販売開始の午前8時を前に沢山の人が列をなし販売の合図を待っていました。

農作物全般が残念ながら不作気味ではあったものの、用意した200本のダイコンは販売開始から15分で完売しました。そのほか、しめ縄飾りや海産物なども販売され、会場の思勝緑地広場は正月ムードにあふれていました。沢山のご来場ありがとうございました。



自治活動に表彰

12月26日、総務大臣表彰の伝達式を行いました。自治会等地縁による団体功労者総務大臣表彰で、受表彰者は森忠夫さん。今里集落で通算15年以上の長きにわたり区長を務められていること、選挙管理委員長などの要職につかれていることから、良好な地域社会の維持、形成に寄与されたことを称えるものです。伝達した伊集院村長は、「寛大な人柄で地域をまとめられていることに感謝する」と述べ、森さんは「こんな表彰を受けるとは」と驚かれている様子でした。



奄美に住みたい！

1月22日、日本各地からの移住希望者8名が大和村を訪れました。これは奄美群島広域事務組合が移住支援のため行っている「移住体験ツアー」（実施（株）ねりやかなや）の一環で、実際に島に足を運んで理解を深めてもらう取り組み。大和村では、村営住宅の見学、先輩移住者との座談会、集落歩きを実施。座談会では引っ越し費用や家の見つけ方についての経験談や、「まずは島に何度も訪れて好きな集落を見つけてほしい」などのアドバイスがありました。参加者は移住のリアルを知ることができたようです。



かんきつ振興大会開催

1月22日、第5回奄美群島かんきつ振興大会が大和村で開催されました。3年に一回行われる大会で、奄美群島からかんきつ農家や関係者ら180名が参加。福元地区でクロウサギ等の害獣対策を行う農園の視察、農業無人車などの実演会を行いました。今大会では、生産者に有益な情報が多く、農家の皆さんは生産への意欲を新たにされたのではないのでしょうか。また、たんかん振興功労者等表彰では、地域のリーダーの一人としてたんかん生産振興に貢献した勝三千也さん（名音）が表彰されました。



どうくさむんがたり

大和診療所だより
Vol. 39

コロナ禍のフレイル

文／小川 信

フレイルについて2020年1月号でもお話ししました。「加齢により心身が老い衰えた状態」のことです。コロナ禍で人とのつながりや地域活動が少なくなっている中、フレイルが進む方々が増えています。

ある研究で身体活動（運動習慣）だけする人よりも、文化活動やボランティア・地域活動をする人の方がフレイルになりにくかったと報告されています¹⁾。つまり、フレイル予防には「人とのつながり」が重要ということです。もちろん上記の全てに取

り組む方がフレイル予防にもっとも良いこととは言うまでもありません。

残念ながらコロナ禍はもう少し続くようです。皆さんの周りの「人とのつながり」をもう一度見直して、きばりんしょうろう！



【文献】

吉澤裕世ら、地域在住高齢者における身体・文化・地域活動の重複実施とフレイルの関係。
日本公衆衛生雑誌，2019年；66:306-316

大金久にゲストハウスがオープン！

文／事務局 三田もも子

昨年、12月に大金久集落でゲストハウス奄美大和宿（あまみやまとしゅく）がオープンしました。

宿は、一日一組限定の一棟貸し。6名まで宿泊可能で、WiFi完備、洋式トイレやシャワールームも新品で、ワークデスクやBBQ用品もあります。

オーナーは、昨年東京から移住し、今里集落に住んでいる森口さんご夫婦。半年ほどかけて、古民家をお二人でリフォームしてきました。森口さんは「大和村の良さを伝えられる宿にします！」と張り切っているらしいです。

ほっとするような古民家なので、親戚や友人の来島の際にはぜひご利用くださいね。



奄美大和宿のホームページ
<https://yamatoinn.jp>



大和村集落まるごと体験協議会の活動レポート
日本一ゆっくりできる
ロングスリープの村をめざして



令和4年11月25日 試行開始

湯湾岳の利用ルールについて

「貴重な自然環境の保全」と
「持続可能な利用の促進」

湯湾岳には、世界的にも貴重な固有の動植物が生息・生育しています。

こうした貴重な自然環境を将来にわたって引き継いでいくため、湯湾岳の自然環境の保全に努め、適切に利用することが求められます。利用ルールへのご協力をお願いします。

貴重な自然環境の保全のためのルール



動植物をとらない、持ち帰らない

動物の捕獲や植物の採取は行わないでください。
湯湾岳周辺は奄美群島国立公園の特別保護地区に指定されており、原則として許可なく動植物の捕獲・採取等できません。



外来種等を持ち込まない、拡散しない

衣服に付着した種子の確認や靴底の泥を十分落とすなど、外部から種子を持ち込まないよう配慮をお願いします。
在来種であっても人為的な持込みは行わないでください。



植物を踏まない、樹木の枝を折らない・切らない

歩道沿いにも希少な植物が生育しています。歩道や広場においては、周辺の植物を踏まないよう注意してください。
また、樹木の伐採や剪定は行わないでください。



歩道や広場以外の場所に立ち入らない

自然環境の保全のため、道や広場を外れて脇道や林内に立ち入らないでください。

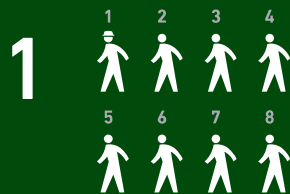


山頂の保全ゾーンには立ち入らない

山頂の「保全ゾーン」は、特に希少な植物が生育し、自然環境の保全上、最大限の配慮が求められます。また、歩道のぬかるみが多く見られることから、利用による拡幅が懸念されています。
希少な植物等を厳正に保全するため、祠広場より奥の山頂の「保全ゾーン」には利用のために立ち入らないようにお願いします。

※学術調査等にかかる立ち入り等については認められる場合があります。詳しくは裏面末尾「ルートについて詳しくはこちら」のQRから。

持続可能な利用の促進のためのルール



少人数利用等の推進

「準保全ゾーン」の宇検村登山口からの登山道は、湯湾岳の貴重な自然環境に対する利用のインパクトの軽減化や森の静寂性、厳かな雰囲気損なうことがないよう、利用は1グループ8人程度以下を目標水準とした少人数による利用を心掛けてください。



ガイド帯同の推奨

「準保全ゾーン」では、自然体験の質の向上や、自然環境への負荷を低減した適正な利用の推進のため、ガイド帯同を推奨します。
ガイドについては奄美大島エコツアーガイド連絡協議会（右上のQRコード参照）、大和村集落まると体験協議会（0997-57-2828）、宇検村ガイド協会（090-1161-7521）まで。



3



地元から神聖視される場所としての配慮

湯湾岳は奄美大島の始祖アマミコ・シニレク降臨の伝説や、與湾大親の墓所の伝承が残り、地域の信仰の対象となっています。
「祠広場」には、こうした石碑や祠が祭られていることから、厳かな雰囲気損なうことのないような利用をお願いします。

※「保全ゾーン」「準保全ゾーン」「祠広場」については裏面地図参照



湯湾岳山頂 展望台

登山道の終着点。
山頂付近からの景色が楽し
める他、湯湾岳にまつわる
伝説を紹介する看板も。



展望台からの眺め



湯湾岳公園 展望台

展望台公園駐車場から徒歩
数分程度の場所にあり、焼
内湾を一望できる眺望を手
軽に楽しむことができます。
展望台公園には休憩用の東
屋やトイレも整備されてい
ます。



宇検村提供

登山道に入られる方は、安全のために、長袖・長ズボン、長靴・運動靴など
滑らない靴、軍手等を着用してください。
右記のサイトもご覧ください。



ルールについて
詳しくはこちら



環境省奄美群島国立公園管理事務所、林野庁鹿児島森林管理署、鹿児島県自然保護課、大和村企画観光課、宇検村企画観光課

●企画観光課より

【地域商品券の利用はお早めに】

大和村地域商品券の利用期限は、令和5年2月28日までです。期限内にご利用ください。

また事業者の方は、3月31日までに換金の手続きをお願いいたします。

◆問合せ 企画観光課

電話 0997・57・2117

【統計調査員をしてみませんか】

統計調査員のお仕事をしてみませんか。統計調査員とは、国等が実施する統計調査の際に、世帯等を訪問して調査票の配布や回収などを行っていたく人のことです。統計調査員となるためには、登録が必要となります。詳しくはお問合せください。

◆問合せ 企画観光課

電話 0997・57・2117

●教育委員会より

【奨学資金・入学準備金貸付が利用できます】

大和村では、高等学校及び大学等への進学が困難な学生に対し奨学資金及び入学準備金の貸付を行っています。

【奨学資金貸付金額】

高等学校奨学生 月額1万円

高等専門学校奨学生 月額1万5千円
短期大学及び専門学校奨学生 月額2万円

大学奨学生 月額3万円

【入学準備金】

短期大学（専門学校を含む）50万円まで
大学 50万円まで

※ただし、入学前に納付が義務づけられた金額の範囲内とします。

諸条件等の詳細については、お問合せください。

◆問合せ 教育委員会

電話 0997・57・2154

●保健福祉課より

【個別健診のお知らせ】

集団検診を受診できなかった方のために個別健診を実施しています。個人の都合に合わせて病院等で受診できる健診です。対象者にはご案内を郵送しています。受診を希望される方は期限内での受診をお願いいたします。

□特定健診

令和5年3月31日まで

□大腸がん健診

令和5年2月28日まで

□女性がん健診

令和5年2月28日まで

□歯周病健診

令和5年3月31日まで

◆問合せ 保健福祉課

電話 0997・57・2218

【ほこらしや奄美音楽祭開催】

奄美群島日本復帰70周年を祝して音楽祭が開催されます。

□日時 令和5年2月25日（土）

□場所 奄美文化センター

□開場 午後5時30分開場

□開演 午後6時30分

□入場料（前売り）

一般 3000円

小中高生 1500円

チケットは大和村役場でも販売しています。

◆問合せ 教育委員会

電話 0997・57・2154



令和5年2月25日（土）会場：奄美文化センター

集団予防接種によりB型肝炎ウイルスに持続感染された方へ 一人で悩まずに無料個別相談会をご利用ください

B型肝炎
給付金について

無料個別相談会

弁護士法人 プレシャス総合法律会計事務所

日程・会場（10:00～17:00）

2/18（土） 2/19（日）

奄美市市民交流センター
小多目的室

対象者 昭和16年7月2日～昭和63年1月27日生まれ ※ご遺族の方も給付金請求できます。

給付金 50万円～3,600万円 ※病態に応じて給付金等の内容が異なります

完全予約制

☎0120-013-621

〈ご予約受付時間〉平日9:00～18:00

個別面談なので、他の方と顔を合わすことはございません。

着し金・相談料 無料
成功報酬制 ※訴訟実費別途

無料電話相談も
同時受付中！お気軽にお電話ください

東京都新宿区四谷4-3 福屋ビル6-A 【営業時間】平日 9:00～18:00
TEL 03-5363-6333 E-mail: info@precious-law.jp
FAX 03-5363-6334 https://precious-law.jp/

むらた ももな
村田 李和 さん



父 丈尚さん
母 綾子さん（大和浜）

保護者からのコメント

「大和村の李（すもも）のように
みんなに親しまれ愛される子になってね。」



おだ みこ
小田 美虹 さん



父 康太さん
母 幸子さん（大和浜）

保護者からのコメント

「毎日癒しをありがとう
これからもすすく育ってね。」



表紙写真の紹介

サクラツツジ。湯湾岳に行く
途中で見つけ、可憐な姿
にカメラを向けてみまし
た。日本で一番早く咲くツ
ツジなのだそうです。12
月下旬から春先まで花が見
られます。



動画公開中！

お誕生おめでとう

中山 蓮楓さん

（保護者 春樹・鈴奈／津名久）

お悔やみ申し上げます

東豊邦様（82歳・戸田）

當勝江様（96歳・名音）

井上宏久様（73歳・戸田）

蘇畑伊沙様（92歳・今里）

盛山小代子様（84歳・国直）

香典返し（社会福祉協議会へ）

盛山俊一様（故盛山小夜子様）

池畑 美和子様（故蘇畑伊沙様）

広報誌送付謝礼

河野 達人様（日置市）

石塚 タ力様（鹿児島市）

ふるさと納税

ありがとうございます

矢野昌彦様（神奈川県）

和田友則様（東京都）

福山成美様（埼玉県）

三浦理恵様（愛知県）

中濱寛 様（東京都）

武成実 様（鹿児島市）

小正貴大様（東京都）

橘香織 様（兵庫県）

岩崎望登様（埼玉県）

江浪まつみ様（兵庫県）

圓山節子様（東京都）

小林奈穂子様（東京都）

佐藤将彦様（東京都）

玉川恵一様（千葉県）

西田千咲様（大阪府）

堀井勇司様（北海道）

岡山朋子様（東京都）

森山博志様（神奈川県）

杉浦武司様（愛知県）

城洋一様（東京都）

榎木いずみ様（東京都）

宮崎裕輔様（埼玉県）

福田郁雄様（千葉県）

前里文司様（大阪府）

白旗和朗様（神奈川県）

吉田純一様（神奈川県）

阿部豊隆様（東京都）

掲載を希望されない

寄附者様286名

写真と共に村長の活動を
報告いたします。

大和村長のフォトダイアリー



元日、今年一年の決意のために湯湾岳へ初日の出を拝みに行ってきました。毎年、家族で元旦には登頂しておりますが、今回は、環境省が新しく整備した「湯湾岳山頂展望台」での年始めとなりました。夜明け前に到着すると、もう既に数名の方が展望台で日の出を待っていました。

雲がかかっていましたが、時折雲の隙間からご来光が見られ、山々の風を受け清々しい新年を霊峰湯湾岳で迎えることができました。「一年の計は元旦にあり」のことわざ通り、気持ちを新たに今年一年を過ごしたいと決意したところです。今年は、兎年ですので、ウサギが跳びはねる姿から「飛躍」「向上」を象徴すると言われております。皆様にとってますます「飛躍する一年」になりますことを願っております。



2023年1月5日現在

ケガをしている、死んでいるアミノクロウサギを発見したらお電話ください！

奄美野生物保護センター
電話 0997-55-8620

こせきの窓

人口	1414人	(△11)
男	710人	(△5)
女	704人	(△16)
世帯	850世帯	(△9)
1月4日現在 (前年同月比)		

広報やまとラジオ便
リッスントゥーミーひらとみ



放送中

77.7MHz

あまみ FM Dai! ウェーブ

月～土曜日

9:00 / 14:30

感想・ご意見お待ちしております！

神奈川県大和市の FM YAMATO で

「大和村の教えてシマッチュ！」を放送中

毎月最終土曜日 11:20～11:30 (再放送は翌水曜日の7:15～)
奄美では JCBA インターネットサイマルラジオで聞くことができます。



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接 URL を入力してアクセスしてください。
(<http://www.vill.yamato.lg.jp>)

発行・編集 大和村役場企画観光課
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜 100 番地
TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161
mail:kikaku@vill.yamato.lg.jp
<http://www.vill.yamato.lg.jp>